

地産地消・産直

生協ひろしまでは、「食の安心」を守り、「地域の活性化」に貢献するために、JAさんとも協力して「地産地消」や「産直」に取り組んでいます。



生協ひろしまがすすめる「産直」は、産地直送ではなく、産地直結。産地と直接結びつき、ともに質の高い商品を作りだすことです。

生協ひろしま産直5原則

1. 産地、生産者が明確であること
2. 生産方法がハッキリしていること
3. 生産者と組合員が交流できる環境づくりを進めていること
4. 事業として成り立ち継続できること
5. 生産者と組合員が対等、平等なこと

お互いに確認

全量引取り制度

生協ひろしまと生産者さんが話し合い、お互いに確認された方法で農産物を育てていただき、収穫されたものについては、原則として全量を引き取らせていただくという取り組みをすすめています。2011年度は下記の生産者にご協力をいただきました。

農産物	生産者	農産物	生産者
千浜人参	JA庄原・JA広島中央・JA広島北部・JA尾道市	レタス	JA広島北部
里芋	JA尾道市	とまと	大崎上島
さつまいも	JA広島中央	ほうれん草	ハートランド広島
たけのこ	(株)久世食品	千浜人参	ハートランド広島
レタス	吉和町	里芋	ハートランド広島
南瓜	JA庄原	春菊	ハートランド広島
トマト	向島	水菜	ハートランド広島

広島県農業者支援制度

県内の農業生産者を応援

生協ひろしまでは、広島県の農業の活性化に少しでもお役に立とうと、「広島県農業者支援制度」を設け、支援金を贈呈しています。情報開示できる栽培・飼育履歴があるなどの条件を満たした生産者さんに応募いただき、支援金として10万円を贈呈。2011年度は以下の方に決定しました。

- 生協ひろしま賞 : 雨土征子さん
- 中国新聞社賞 : 佐野富貴子さん
- JAグループ広島賞 : JA尾道市環境農業研究会

自ら生産

農業生産法人が本格稼働



2010年7月に生協ひろしまの子会社として設立された農業生産法人(株)ハートランドひろしま。2011年度から、いよいよ本格的に収穫が始まりました。養液栽培の栽培面積26アールは県内最大級、生協ひろしま自身が作った農産物を生協ひろしまの組合員に供給する体制が整いつつあります。



8月22日。南国元気鶏のマルイ食品(鹿児島県出水市)



8月1日。とうもろこしもぎ取り交流会(西城町)



8月22日。魚商品のシーサット(山口県下関市)



9月10日。産直たまご交流会(世羅郡世羅町)



9月25日。稲刈り交流会(島根県邑南町)



10月8日。甲奴牛乳交流会(三次市甲奴町)



10月2日。稲刈り交流会(安芸高田市)



10月31日。芋ほり交流会(北広島町)



10月24日。里芋収穫体験交流会(三原市大和町)



10月27日。千浜人参産地見学(庄原市高野町)

もずくのふるさと沖縄県恩納村で交流

もずく基金贈呈 **652,905円**

※贈呈式が2012年4月10日に行なわれました

もずくを育てる沖縄の海とさんごを守るために設けられたもずく基金。対象商品を購入いただくと4パック商品では2円、2パック商品で1円を積み立て、さんご再生に役立てられています。2011年度に積み立てられた金額は上記の通りでした。

親子で交流会も開催されました

